



2017年10月25日

**第45回東京モーターショー2017**  
**マツダ プレスカンファレンススピーチ**  
2017年10月25日(水) 13:40-13:55(日本時間)

**マツダ株式会社**  
**代表取締役 社長兼CEO**  
**小飼 雅道**

本日はお忙しいところ、マツダスタンドにお越しいただき、誠に有難うございます。  
今年のマツダスタンドのテーマは、「マツダは『走る歓び』でクルマを愛する人に人生の輝きを提供する」。将来に向けて、新たな一步を踏み出した、私たちの決意をご覧いただきたいと思ひます。

2012年に市場導入した、SKYACTIV技術と魂動デザインを採用した新世代商品が推進力となり、構造改革は成功し、現在私たちは、構造改革の第2ステージとして、「開発から販売までの質的成長」と「ブランド価値向上」に取り組んでいます。その過程で、冒頭の映像で見ていただいたようなお客様との絆を育み、「走る歓び」と「人生の輝き」を提供し続けるブランドでありたいと思ひています。

さらに、将来も持続的な成長を続けるため、今年8月に2030年を見据えた技術開発の長期ビジョン「サステイナブル “Zoom-Zoom” 宣言2030」を発表しました。世界の自動車産業を取り巻く環境の急激な変化を踏まえ、クルマの持つ魅力である「走る歓び」によって、「地球」「社会」「人」それぞれの問題解決を目指す私たちのさらなるチャレンジです。

「地球」の領域においては、「Well-to-Wheel」の考え方にもとづき、本質的なCO<sub>2</sub>削減を図ることで、豊かで美しい地球と共存できる未来を築くことを誓いました。それを実現するためには、各地域における自動車のパワーソースを、エネルギー事情や電力の発電構成を踏まえ、内燃機関やHV・EVなどの電動化を適材適所で対応する「マルチソリューション」が必要と考えています。その中でも今回の東京モーターショーでは、今後の地球環境保全に最も大きな影響を与える、内燃機関の理想追求を中心にご覧いただきます。また、「社会」の領域については、安心・安全なクルマと社会の実現により、すべての人が心豊かに生活できる仕組みを創造すること。「人」の領域では、走る歓びにあふれた車を通じて、地球を守り社会を豊かにすることで、人々の心の充足を提供することを目指します。

スタンドには、マツダの将来ビジョンを達成するための、技術とデザインを展示しています。まずは、世界一を目指した夢のエンジン「SKYACTIV-X」。マツダ独自の燃焼方式「SPCCI(Spark Controlled Compression Ignition:火花点火制御圧縮着火)」によって、ガソリンの希薄混合気を、広い走行範囲で圧縮着火させる技術の実用化に、世界で初めて※めどをつけました。ガソリンエンジンの高回転域までの伸びの良さと、ディーゼルエンジンの優れた燃費、トルク、レスポンスといった双方の利点を兼ね備え、優れた環境性能と出力・動力性能を両立、マツダが目指す人馬一体の走りをフルサポートいたします。

次にデザインについてですが、次世代マツダデザインのビジョンを示すコンセプトカー、「マツダ VISION COUPE」をご覧ください。魂動デザイン哲学をベースに、より自然な生命感を感じさせる、エレガントで上質なスタイルに深化させました。無駄な要素を極力そぎ落とししたところに美しさを見出す日本独自の美意識を、クルマのデザインに表現しています。

それではここで、次世代のマツダへのさらなる一歩へ。その幕開けを担う世界初公開のコンセプトモデルをご紹介します。次世代ガソリンエンジン「SKYACTIV-X」と、人間中心の思想を突き詰め各機能を最適化した次世代「SKYACTIV-Vehicle Architecture」に加え、深化した魂動デザインを搭載した、コンパクト・ハッチバック・コンセプトです。どうぞご覧ください。

この「マツダ 魁 CONCEPT」は、マツダの将来技術とデザインを搭載しており、今後もクルマの本質にこだわり、「走る喜び」を追求するクルマ作りを進めていく、マツダ次世代商品の「先駆け」ともいべきコンセプトカーです。

マツダはクルマの持つ本質的な価値により、人の心を元気にしたいと考えています。ただ豪華で高価格なものではなく、よりお客様に必要とされ、お客様と強い絆を持つ「マツダプレミアム」の実現を目指して参ります。この「魁 CONCEPT」にも込められた、常にお客様の期待を超え、心を込めてお客様をおもてなしするクルマを作ってまいります。

マツダの挑戦にご期待ください。  
ご清聴ありがとうございました。

以上

※2017年8月現在、マツダ調べ